

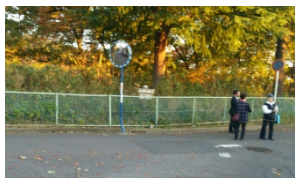
## 佐藤ゆきお 日々の活動



●松森刺松9付  
近 カーブミラー  
設置  
4月10日 調査  
6月26日 完了



●泉中央4丁目  
公園 階段手す  
り整備  
3月24日 調査  
6月 8日 完了



●鶴が丘4丁目  
1-21付近  
カーブミラー左  
右タイプに交換  
11月2日 調査  
5月27日 完了



●八乙女4丁目  
2-40付近  
歩道の電柱移設  
11月2日 調査  
8月9日 完了

# 佐藤ゆきお 市議会通信

SATO YUKIO SHIGIKAI TUSHIN  
【泉区】IZUMI-KU

# 8

一人の声を  
市政に  
つなぎます  
VOL. 8

2017年8月発行  
発行元/仙台市議  
会公明党市議団  
仙台市議会議員  
佐藤 幸雄  
仙台市泉区南光台1  
-56-15-1  
TEL.022-272-4863  
Email yukio@  
sendai-komei.jp  
HP [http://sato-  
yukio.jp/](http://sato-yukio.jp/)

「史跡 陸奥国分寺」の会派視察 2017年7月26日



### 第2回定例会にて取り組むべき施策を提案！

日頃より皆様からの暖かなご支援を頂きまして、心より御礼申し上げます。

平成29年 第2回定例会(6月8日～6月23日)が開催されました。今定例会におきましても、当会派の代表質疑で、「東日本大震災より6年3ヶ月が過ぎましたが、「最後のお一人が生活再建、そして心の復興を成し遂げるまで復興は終わらない」との思いを再度、奥山市長へ訴えて参りました。これからも最後のお一人まで寄り添った復興の取り組みを進めて参ります。

今回で8回目となる議会を経験し、様々な質問(一般質問5回、代表質疑1回、決算・予算審査特別委員会3回)に立たせて頂きました。

今回の一般質問の内容は、「①知的障害者施設における高齢者施設の確保②放課後児童クラブの待機解消③地域公共交通について」の3点について、ご相談を頂いた「声」にお応えするために、当局にお訴え致しました。これからも皆様の「声」を実現するために、更に成長したいと日々決意し取り組んでおります。何事にも全力で対応し、更なる「安心・安全」な街づくりを推進して参る決意です。

仙台市議会議員 佐藤 幸雄

### 議会質問履歴

- ・平成27年度第3回定例会  
一般質問  
決算等審査特別委員会(環境費)
- ・平成27年度第4回定例会  
代表質疑
- ・平成28年度第1回定例会  
予算等審査特別委員会(環境費)
- ・平成28年度第2回定例会  
一般質問
- ・平成28年度第3回定例会  
一般質問  
決算等審査特別委員会(環境費)
- ・平成29年度第1回定例会  
一般質問  
予算等審査特別委員会(環境費)

- <所属委員会>  
市民教育委員会 (H27年度)
- 健康福祉委員会 (H28年度)
- 環境・福祉・政策調査特別  
委員会 (H27年度～)
- 広報委員会 (H27年度～)

HP  
<http://sato-yukio.jp/>  
SATO YUKIO SHIGIKAI  
TUSHIN  
VOL.8 2017.8



第2回定例会  
一般質問  
平成29年6月

## 知的障害者施設・児童クラブ・地域公共交通の取り組みについて訴える！

### 1. 知的障害者の高齢者施設充実には待ったなしの課題

【佐藤幸雄議員】国が定める現在の制度によりますと、知的障害者の方につきましても65歳を超えた場合、特養ホームにて受け入れを行う事となっておりますが、本市内の特養ホームにて受け入れをされている事例は「少数」であると同っている。「入所が進んでいない理由」、状況について、どのように認識されているのか伺う。

【健康福祉局長】介護保険サービスの対象年齢である65才に達する前にグループホームに入居される方が多く、引き続き慣れ親しんだ地域での生活を希望されることも一因と考えている。特養ホームも含め様々な社会資源の活用が、より一層進むよう取り組んでいく。

【佐藤幸雄議員】知的高齢者施設を先進的な取組みで推進している神奈川県厚木市の「厚木精華園」へ視察をしてきた。この施設では、女性だけの住居スペースを設けており、男性は入ることが厳禁となっていた為、中はどの様になっているのかと伺うと、女性らしい部屋(デザイン)となっているとの事。このように女性のプライベートを守る考え方は、預ける親の

信頼を築く秘訣でもあると考える。本市の施設としては、このような女性のプライベート居住空間の確保をどのように推進されているのか伺う。

【健康福祉局長】市内の障害者入所施設の多くは、20年以上前に整備されたものであり、男女別の居住区域とするなどの一定の配慮はなされておりますが、一方で、複数名が居室を共同利用することを前提として設計されており、プライバシーへの配慮は十分とは言えない面もある。

今後、改築などの際には、入所者の状態像に合わせて個室も選択できる施設となるよう働きかけてまいりたいと考えている。

【佐藤幸雄議員】視察先では、入所者と親族のご意向に対応していく終末期及び看取りについて最大の心を尽くされ、今も最大の課題となっていた。親は入所しているお子さんより先に亡くなる事を覚悟し、残されたお子さんを祈るような気持ちで施設に託していることを改めて感じた。この親の心に思いを寄せて取り組む仕組みづくりを、今後本市で検討し推進すべきであると私は考える。当局の所見を伺う。

【健康福祉局長】これまでもご本人やご家族に各種審議会等の委員として参画していただいているほか、意見交換の場を積極的に設定するなど様々な機会を通じて思い、声を

伺い、各種施策の展開につなげてきた。今後とも、こうした姿勢を大事にしながら、一層の施策の充実に努めてまいりたい。

【佐藤幸雄議員】本市として知的障害者の高齢者施設の建設を計画している方への寄り添った対応、例えば、建設区域の緩和等、また本市独自の補助も検討すべきであると考えている。当局の所見を伺う。

【健康福祉局長】建設区域については、一定の条件のもと、市街化調整区域への整備も認めている。障害者、高齢者のいずれの施設についても、必要な方が支援を受けられるよう、次期計画において適切な整備目標の設定に努めていく。

### 2. 放課後児童クラブの待機児童を解消すべき

【佐藤幸雄議員】地元小学校に通っている児童の居場所づくりのためにも是非、学校の空き教室を最優先に受け入れ調整スペースとして活用できるのか。所見を伺う。

【子ども未来局長】サテライトの整備にあたっては、児童の安全・安心確保の観点から、学校施設を最優先に検討することとしており、昨年度整備した32学区のうち21学区について、小学校の協力のもと、学校施設を活用したところである。今後とも、教育委員会と緊密に連携し、学校施設を積極的に活用しながら、必要な受け皿を確保してまいりたい。

### 3. 新たな交通施策の「見える化」を推進をすべき

【佐藤幸雄議員】本市営バスを今後

維持するためには、第1回定例会でもご提案した「乗合タクシー等」の代替施策について、ご当局からも「検討する」との答弁であった。定期的な期間で市民の皆様にも示せるスケジュールを示すことで本市の地域公共交通の「見える化」を行い、不満、不安が少しでも解消できるのではないかと考える。当局の所見を伺う。

【都市整備局長】今年秋の実態調査(パーソントリップ調査)の実施に向け、県をはじめ関係機関と具体的なスケジュールの検討を進めているところである。調査結果を活用できるまでには、1年半から2年程度の期間を要するものと見込んでいる。市民の生活を支える交通の確保は本市にとって大変重要な課題であり、パーソントリップ調査等の基礎的調査や他都市事例の研究などを通じ、それぞれの地域における対応について実現可能性を十分に検討していく必要があるものと認識しており、そのためにもまずは基礎的調査など当面の取組みに力を注いでまいりたいと考えている。

